

## 活動状況報告（8月）

学生留学コース 5期生 酒井 友希

フィンランドに来て3週間ほどしか経っていませんが、自然享受権の恩恵をよく受けています。この権利は土地の所有者に損害を与えることなく植物や動物に敬意を払って行動する限り、すべての人にあらゆる土地への立ち入りや自然環境の享受を認めるものです。そのため、大学の近くでハイキングやベリー摘みへよく行っています。

先日、市内のお店で偶然知り合ったフィンランド人のニッティおじさんにベリーピッキングとピクニックに連れて行ってもらえました。森の中は静かでリラックスが出来る為よく森には来ることを教えてくれました。また、ハイキングをしていた時に偶然知り合ったフィンランド人の家族と仲が良くなり、庭で蜂蜜を作っていると聞いたため見に行きました。オーガニックな方法で蜂蜜を作っており、自然と隣り合わせの生活を送っているようでした。数週間のフィンランド人との関わりで少しずつフィンランドの幸福度が高い理由を自分自身で体験しているように思います。そして、自然環境との関わりが密接であるからこそ、自然を大事にしたいと思っている人が多い印象を受けています。

そして、近くのスーパーに意外に売られていた味噌とみりん、加えて鮭を購入して北海道の郷土料理のチャンチャン焼き、いももちを作りました。イタリア、中国、スペイン、オーストリアそして福岡出身の友達8人に北海道料理を振る舞い、幸いにも美味しく作ることができました！福岡出身の友達も初めてのチャンチャン焼きで感動し、イタリアの友達はいももちがイタリアの祖母が作ってくれるものに似ていると言っていて、新しい発見もありました。次回は友達が料理を作ってくれるので、楽しみです。授業も沢山始まるので日本と比較しながら勉学に励みたいと思います。